



こころみ

H.23.2.25 担当：研究主任会

広がっています， **ワークショップ型授業研究会**

→小グループに分かれて付箋や模造紙を活用してアイデアの構造化を図りながら協議や発表を進めること。

市内小学校の現状

～市内18小学校の研究主任へアンケートを実施しました～

★今年度，ワークショップ（以下WSと表記）型研究会をしましたか？ 実施した9校 実施しなかった9校

→実施した手応えはどうでしたか？

- ・とてもよかった5校
- ・まあまあよかった4校



〈WS型研究会の利点は？〉

- ・誰もが比較的気楽に意見を出せる。
- ・すべての先生が発言できる。
- ・話し合いが活発になる。
- ・会の前に付箋紙へ意見を書いて模造紙等へ貼り付けていくので，協議内容が視覚的になる。
- ・完成した表から授業の質が一目瞭然。
- ・改善策も検討でき，研究推進・授業力向上につながる。

→実施しなかった理由は？

- ・自校の現状に満足3校
- ・少人数のため5校

〈小規模校では？〉

- ・少人数では全員意見を言うので，WS型の必要性を感じなかった。
- ・複数グループが作れない。

★来年度WS型の研究会を実施する予定ですか？ ぜひしたい6校 できればしたい10校 検討中2校

小学校では，一つの授業を全員または多人数で参観し，研究協議することが多くなります。そんな場合に，WS型なら，若手・ベテランにかかわらず，全員が自分の考えを出し合って協議することができ，実施した学校では好評を得ていました。



[画像提供：有浦小]

市内中学校の現状

～市内10中学校の研究主任へアンケートを実施しました～

★今年度、ワークショップ型研究会をしましたか？ 実施した3校 実施しなかった7校

→実施した手応えはどうでしたか？

- ・とてもよかった2校
- ・まあまあよかった1校

→実施しなかった理由として……

- ・小規模校のため、人数が少なく意見や発言が活発に出るため、WS型の必要がない。(2校)
- ・自校の現状に合わない(研究会の時間の確保、その他)。(5校)

〈実施してみたの感想〉

- 話し合いが活発になり、評判がよかった。
- 意見がたくさん出るのでよい。1つの教科を多くの先生方で見ると取り入れたい。
- 協議の視点を絞ることで研究も深まり、先生方個人個人の“授業を見る目”も育つと思う。

★来年度WS型の研究会を実施する予定ですか？ ぜひしたい2校 できればしたい4校 検討中4校

中学校では、担当教科だけでなく、他教科の授業を参観し研究協議に参加する機会が多くなっています。発問の内容、中心活動の設定の仕方や板書、生徒の動きなど参観する視点を明確にすることで、教科の壁を越えて研修を深め、各自の教科指導に生かすことができます。



[大館市研究主任協議会研修会 6月実施]

校内研修を活性化させるための1つとして…

～限られた時間の中で、小グループで～

年間研修計画のなかにWS型研修を組み込んでみましょう！

- WS型は教職員一人ひとりの意見やアイデアを吸い上げ、共通理解を図りつつ問題解決等を行う場合に有効である。
- 参加者が積極的に他の参加者の意見や発想から学んでいく姿勢が大切である。
- 全国的に実施されており、今後だれでも体験しておくべき手法の1つであるが、WS型が全てを網羅しているわけではないので、理論や背景などを正しく理解しておいたほうがよい。
- 県教育センターでもパンフレットやプレゼン資料を提供しており、学校支援講座「ワークショップ型授業研究の進め方」等も活用することができる。



[県センターの学習支援講座]